

2010.12.15発行

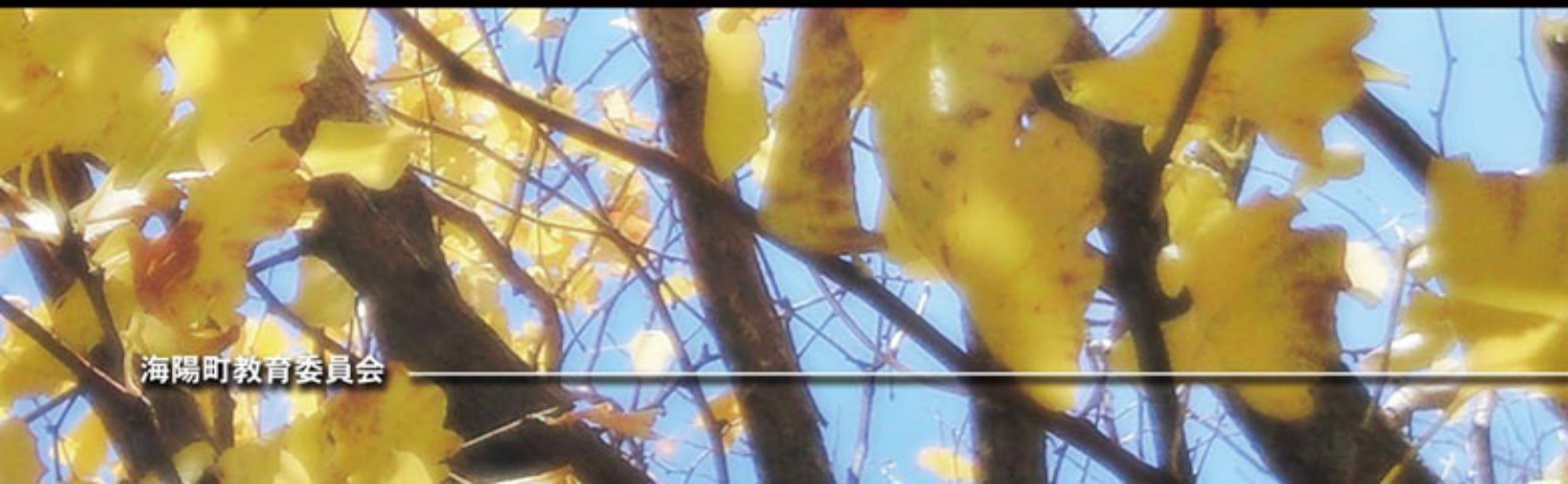
2010
12月
第28号

かい 海 陽

公民館報



地方巡回公演「のらねこハイジ」





のんびりウォーク

総合型地域スポーツ

11月28日(日)海陽町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会が中心となり「のんびりウォーク」を実施しました。

当日は、小学校や一般の方およそ90名が参加し、午前9時30分の合図でスタートしました。コースはブロンズ(約3km)、シルバー(約5km)、ゴールド(約8km)にわかれ、自然を背景にのんびりと自分のペースで楽しく歩きながら、交流の輪を広げました。

いつでも・どこでも・誰にでも、自分のペースで気軽に行える「ウォーキング」まずはできる時間で始めてみませんか？



はい、これでいいんけ？
おねがいします。

おつかれさん、
ハンつかあ！



準備体操が大事やけん



わいわい

なんか、歌おう

なんか、遠足みたいや！
めっちゃ、楽しい！！



歩いたら、
ぬくもつてきたなめ



うん、楽しい！
又、参加したい！

景色みて
歩くんもええな！

芸能大会

—海南文化村—

□詩吟



■端唄

■太鼓



□太極拳



10月30日(土)から11月3日(水)までの5日間、海陽町文化祭が海陽町内3会場(阿波海南文化村、海陽町役場(海部庁舎)、宍喰小学校体育館)でそれぞれ開催されました。各会場とも、子どもから高齢者の方までたくさんの作品が展示され、期間中には俳句大会・川柳大会・囲碁大会・お茶会・押し花体験・芸能大会などがあり、町内はもとより、町外からもたくさんの来場者を迎え開催されました。

第5回海陽町文化祭2010

□日舞



■組み体操・ダンス



■阿波おどり



□民踊



■合唱



— 大喰会場・
学生の部 —

□三味線



□カラオケ



□民俗舞踊



□大正琴



□バレエ



□演劇



□民踊



□太鼓



■合唱



作品展示

— 海南文化村会場 —

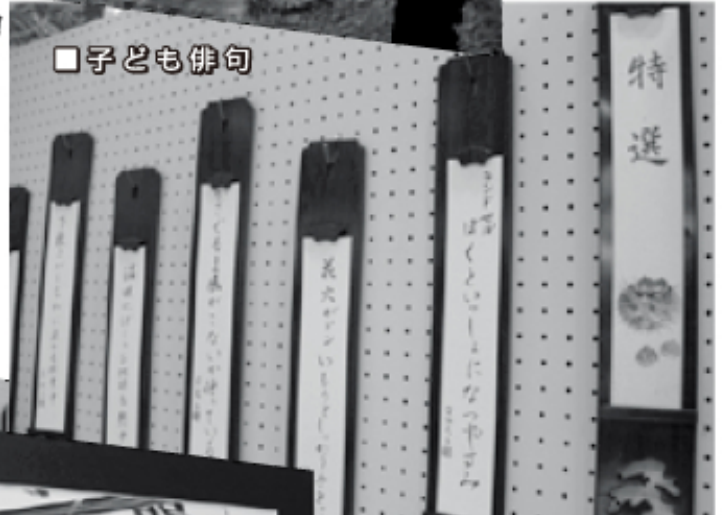
□児童作品 (川上小)



□水墨画



□子ども俳句



□手芸



□短歌



□写真



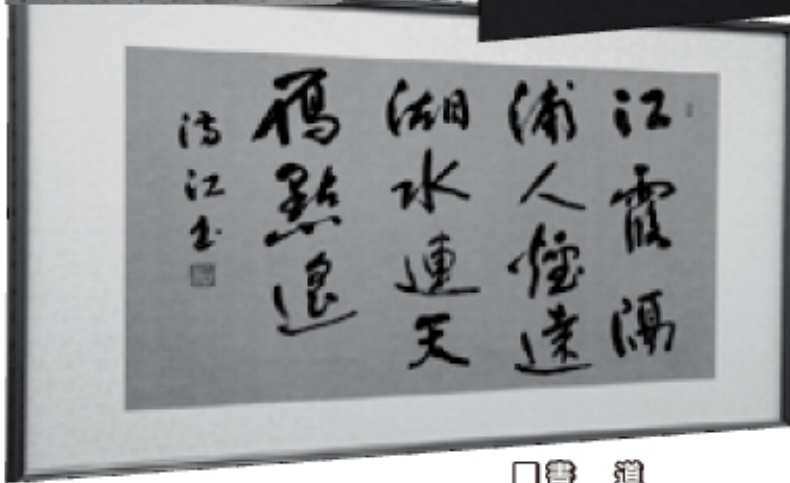
□押し花



□点字



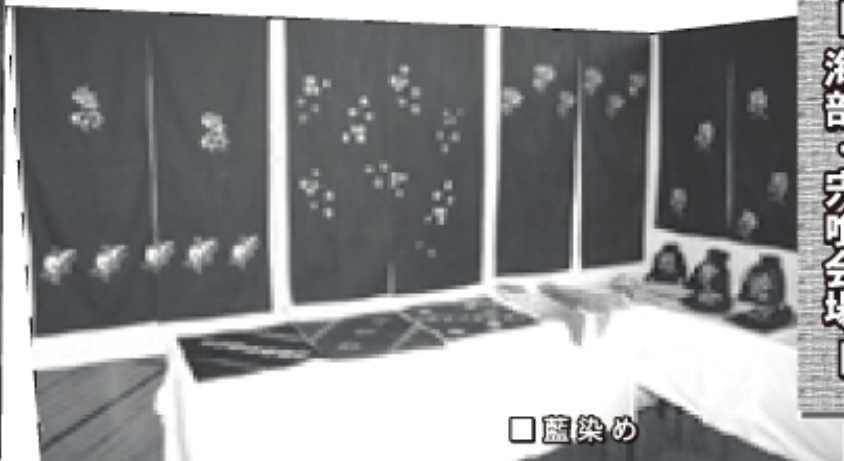
□書道



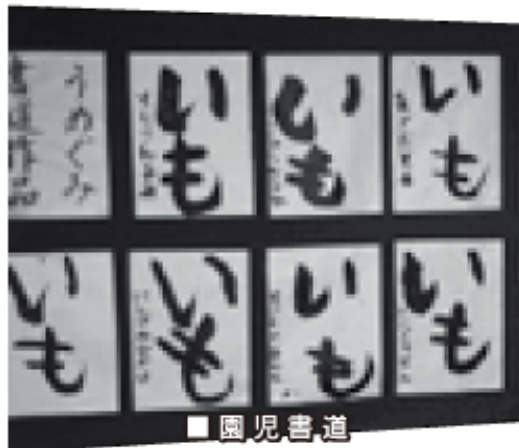
「海部・大喰会場」



■ 絵 画



■ 藍染め



■ 園児書道



■ 生 花



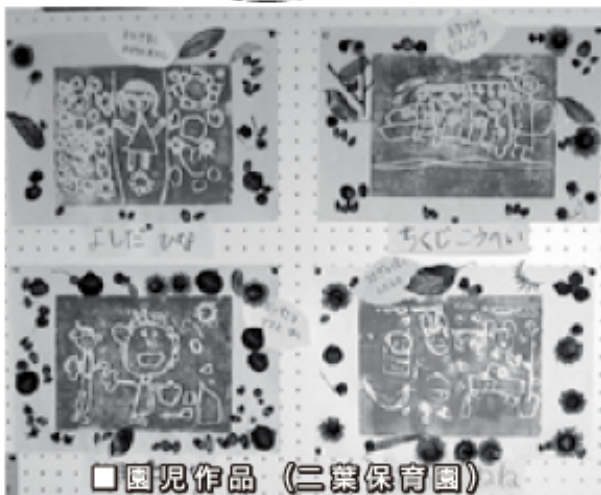
■ 編み物



■ 生徒作品 (海部中)



■ 書 道



■ 園児作品 (二葉保育園)



■ 手 芸

10月10日(日) 共楽運動会

海陽町共楽運動会が各地区(川東・浅川・平井・小川・相川)で行われました。
 雨のために1週間遅れの開催となりましたが、10日(日)はさわやかな晴天に恵まれ、子どもから高齢者までたくさんの方が参加し、熱戦が繰り広げられました。
 地域あげての運動会だけに、どのチームも手に汗握る闘いぶりでした。



今度の休み、久しぶりに磯へ行こうかな!



はいれえ〜

入ったけ?



川東地区



また、一番とったるぞ〜



…9・10・11…
今、何回?

回すんも
しんどいなあ



やったー
パン Get!

あん



おっしや、この調子でいつかにひっぱれば!!



なかなか
釣れな
か
ん
も
ん
や
な
あ





よいしょ

びよーん

僕、まだまだ
飛べるよ!!



海部地区



行け

オー、ええ勝負
しようやないけ!



どうしよう、みんな見よるもん



いちについで、よーいドン!



よいしょよ、
入ったけ?



なあ、僕と走ったら
一番になったやろ!



大きいなったら
わたし乗るもん!

※ 海部地区…3日(日)に体育館で実施。
 ※ 穴喰地区は、雨天のため中止になりました。



11月26日(金)海南小学校で海陽町内の全小学生を対象に如月舎による演劇「のらねこハイジ」の公演が開催されました。

子どもたちがすぐれた児童文化にふれ、感受性を豊かに発達させることを目的に、毎年実施しています。

主人公のハイジが、のらネコの仲間助けられたり、ねずみのチュウ子におしえられたりしながら日々成長していく姿を通し、「仲間と共に生きる」とはどういうことなのかを考えさせられるもので、子ども達の心にも響いたと思います。作品を鑑賞された小学生の感想文を一部ご紹介いたします。

海南小学校 3年 乃一 晴海

おもしろかったのは、ハイジのなきごえです。かんどうしたところは、チュウコさんと、ハイジがわかれるところです。わたしは、二人をみていて「ゆうじょうは、いいものだ。」と思いました。ゆうじょうやど力を、たいせつにしていきたいと思ひます。すごく、げきだんの人のおどりじょうずでした。

海部小学校 4年 田村 希恵

「のらねこハイジ」を見て、飼い主に捨てられたハイジは、ねずみ(えさ)もつかまえられなかったのに、おばばのおかげで最終的には、ねずみをつかまえる様になってよかったし、高い所にも上られる様になれてすごいなあと思いました。そして、みんなと協力して悪い男の人をやっつけていて感動しました。生で見られるのは、年に1回ぐらいしかないので、とても楽しかったし、うれしかったです。また来年見れたらいいなあと思いました。楽しいげきを見せてくれて本当にありがとうございました。

川上小学校 5年 睦内 彩音

私が一番心に残ったことは、のらねこハイジは外に一度も出たことはないけれど、ねずみのちゆう子に、外に出してもらえたり、食べ物をもったりしたことです。でも、ハイジとちゆう子は、仲良しになったけれど、のらねこは、ねずみの敵なので、別れてしまいました。でも別れてしまっても友達でいると思ひました。このげきは、とてもおもしろいし、感動しました。これからもこのげきを続けていってほしいと思ひました。

穴喰小学校 6年 戎谷 はるな

私は、劇を見れると聞いた時、すっごくわくわくしました。「『のらねこハイジ』ってどんな劇なんだろう?」とドキドキしながら体育館に入りました。劇が始まってすぐに出てきたのが「ニャーッ」の声と同時にねこがでてきて曲に合わせておどっていたのが見ていて面白かったです。ハイジの少しおくびょうな所やちょっとドジな所もあったけど、周りのみんなに協力してもらったり助けてもらったりして最後にはどらきちさんを助けたのがかっこよかったです。間にあったおどりも見ている私たちまで一緒に楽しみました。本当におもしろかったです。思わず声を出して笑ってました。本当にありがとうございました。

浅川小学校 6年 竹内 優花

私は最初「のらねこハイジ」という題名を聞いて、どんなお話かなと思ひました。劇が始まって見たらミュージカルみたいに歌ったり、踊ったりしていたから、すっごくにぎやかだなと思ひました。私が一番心に残っている場面は、ハイジとチュウ子が再会する場面です。この場面を見て私は、「友達って、本当に大切なんだ」と改めて感じました。

このほかにも、おもしろい場面や、楽しくなる場面もたくさんありました。

劇団如月舎のみなさん、今日は私達のためにこんな楽しい劇をしてくれてありがとうございました。これからも健康に気をつけて、おもしろい劇をたくさんしてください。今日は本当にありがとうございました。

巡回展

「海を渡った
人形と平和への
願い」から

巡回展広報より

昭和初期の1920年代に、日米両国間で行われた友情と平和の使者としての人形交換を紹介した巡回展「海を渡った人形と平和への願い」(徳島平和ミュージアムプロジェクト実行委員会主催)が、9月23日(木)から10月3日(日)まで町立博物館で開催されました。アメリカから贈られた青い目の人形のうち、徳島県では神山町神領小学校にだけ一体残るアリスちゃん、日本から贈られた答礼人形のうち今回里帰りを果たしたミス徳島が、お互い一緒に展示で並びました。お絵かきコーナーには、来館した子どもたちの描いた人形の絵も並び、また期間中、にもの会(代表 岡澤恵美子)の皆さんに、「青い目の人形アリスちゃん」の紙芝居を海陽幼稚園や保育所の子ども達などに読んでもらいました。会場には、当時贈られたアリスちゃんの衣服や人形交換を説明するパネルなどの他、アリスちゃんを題材にした原田一美著『青い目の人形～海を渡った親善人形と戦争の物語～』の挿し絵の原画が展示されました。10日間を通じた来場者は360名で、展示は松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館へ引き継がれました。

海陽町分館交流スポーツ大会 **グラウンドゴルフ大会**

11月16日(火) 於：突喰町民グラウンド



優勝された坂本節子さん

心地よい秋空のもと、第3回公民館交流グラウンドゴルフ大会を開催しました。総勢130名のみなさんが、競技を通じて交流の輪をひろげながら、和気あいあいと、元気にプレーを楽しまれました。



大会結果

【優勝】坂本 節子 スコア 34

【準優勝】大黒 千枝美 スコア 34

注：合計打数が同数の場合、ホールインワンの数の多い者を上位とする。

「縄文土器をつくらう」

(学習報告)



子ども達の作品



今年も昨年につづき、元海南高等学校校長の小林勝美さんのご指導により、博物館の歴史体験学習として工芸館第3工房で縄文土器をつくりました。10月9日(土)に、町内より小学5・6年生を中心に7名が参加しました。昨年参加した児童も今年は一とまわり大きな作品を仕上げました。この日は一日粘土を手にとりて器の形をつくり、最後に竹べらや串などで文様をつけました。10日間ほど乾燥させて電気窯で焼き、できあがった作品は文化祭の間、博物館に展示しました。自分だけのオリジナルな縄文土器は、とても良い思い出になったでしょう。

第一回 ふるさと発見講座

「大里出土銭から学ぶ 中世のお金」から

10月24日(日) 午前10時 化財として銭齋と出土銭を
から町立博物館エントラン 博物館に常設展示していま
スロビーにおいて、兵庫埋 すが、開館から12年を経て
蔵銭調査会の永井久美男さ ようやく実現しました。N
んをお招きし、第1回ふる H Kの依頼で9月に番組と
さと発見講座「大里出土銭 なった、海陽町大里出土銭
から学ぶ中世のお金」世 の謎のお金のご協力
界で一枚しかないといわれ いただいたことが本講座の
るお金の謎を解く」を開 機縁となりました。90分
催しました。この日は海陽 講演では、中世の日本が中
町文化祭の初日で、31名が 国の銅銭を輸入し、また日
受講しました。講師の永井 本でコピー銭を鋳造してい
さんは、昭和54年(1979) たことや、埋蔵銭の調査の
に大里浜崎で工事中に偶然 ことなどもお話しいただき
発見された70088枚の ました。ふるさと発見講座
古銭を詳細に調査し、平成 は、歴史や文化、自然、芸
6年(1994)に『阿波 術等に関する海陽町の話を
海南 大里出土銭―海南町 テーマに据えて開催してい
中世埋蔵銭の報告書―』を きます。本講座をとおして
編集刊行した埋蔵銭研究の ふるさと海陽町のことをみ
第一人者です。町の指定文 んなで学んでいきましょう。

穴喰俳句 十一月例会より

秋の夜や机にのこる湯呑あと 鍛冶田 辰
 新しい靴に履き替え花野かな 井花きみ
 文化祭老いても見事なる習字 原 よしえ
 曲れば匂ふ柚子の畑がすぐそこに 元木朱子
 雁渡るくつきりと浮く島二つ 樽井みつ子
 ラ・フランス好きといふ子が二人かな 間戸谷恵子
 豪快に伊勢海老祭する漁港 長岡達江
 冬支度山に住むのも良しとする 梅田千恵子
 酒好きの仏に供ふ新酒缶 藤川照子
 風に乗りもつれつつ舞う秋の蝶 中島 時
 身にしむや盛りの夫の古鞆 上田はずえ
 村の秋無人の家が五・六軒 寺崎照代
 名月やグラスが二つ卓の上 中岡啓泰
 あれこれと迷いしあげくサンマ買う 陸田ヨネ子
 うたたねの夫に声かけ夜の秋 中岡弥生
 黒板にのこりたる文字秋の暮 木下野生

海南俳句 文化祭合同俳句大会より

星月夜五衛門風呂に顎あごまで 田中たち子
 秋遍路同じ歩幅のふたりかな 谷口洋根子
 航跡の行き交う瀬戸や夕焼ける 西澤初江
 全校生十三人の運動会 富田 聞二
 ほろ酔も少し許され秋祭 津川須美江
 一升瓶抱きて秋の祭唄 樋口五織
 過疎なれど堅き絆の運動会 工藤歌子
 早曉の頭上をまちか雁の棹 武知陸子
 分け入ってズボンに服に草風くさかぜ 鍛冶崎郁夫
 秋天に穴を開けたり威銃 大田 充治
 木犀の匂える家に家風あり 山本達平
 祭りの子買いし風船空に舞い 森 浩子
 松手入友の鉄の鋭き音 廣瀬克子
 菊日和俺とお前の六十年 阿辺とく江
 飴色の家具をならべて村まつり 岡田賀代子
 爽やかや小松菜植えむ三列に 叶岡陽二
 新米に美味とねぎらい二重奏 平道はつ子
 かさこそは十月の音猫通る 橋本幸子

海部ひまわり俳句

秋水のおもむくままに水藻揺れ 西本公明
 潮風の岩打つ狭の根釣かな 津田 一
 根釣人勝手知ったる岩づたい 歌 たゆ
 入院の友思いつつリングむく 元木美枝子
 地車だんじりも声のすべでも通り過ぎ 松田嘉子
 菊日和最後の賞は裏千家 坂本素子
 駒かぶみぐせ笑みて行き過ぐ十夜寺 南 歌子
 秋天に針穴かざし糸通る 榊原礼子
 夢を追う若き青春秋立ちぬ 佐藤美代子
 一服の茶の湯に集う月見かな 谷 一三四

海南短歌会

閉校のせまる母校の運動会全校一団鼓笛隊ゆく
 病窓に移る自然の彩に清しき秋を覚ゆまもなく
 なりゆきは予想の範囲ふりやまぬ雨の向こうをわれは見ており
 「ヒト」は何故繰り返すのか争奪あらそひを尖閣諸島に戦火の憂ひ
 荒畑に秋桜ゆれる夕まぐれ虫の音聞かず木枯らしの吹く
 泣き顔の写真もときどき送ってね孫のいろんな顔見たいから
 誕生日のケーキを嫁に贈られし七十五歳の男おとこの片類
 大田 充治
 大久保スエ子
 土谷 公代
 宮川 満江
 魚見 妙子
 蛭子 美恵子
 細野 綾子

穴喰短歌会

敷網の浮標に止まる五位鷺の鈍き動きを夕日は晒す
 陽のひかり反す葉裏のしろじろと秘かに初冬を醸す山ぐみ
 六十年を抱きて過ぎし亡母の面輪吾より若く眼裏にあり
 炎天に愛しく育つ千日紅細枝に確と花実を残す
 木枯らしに舞散る落葉踏みてゆく儂き生の道程遠し
 一夜にて柚子色付きぬ台風は東海に去り明日は霜月
 図書館に今も送らる寄贈本小さな町の大きな宝
 ドナルド・キーン氏より
 大黒 千枝美
 石井 町子
 山崎 千栄子
 桑野 亀乃
 舛谷 恂子
 三野 みよ子
 田井 晴代

海陽町文化祭川柳大会より

気取らない礼が田舎の旨み出し
 礼などは無用と嫁の看護ぶり
 目礼を軽くかわして名は知らず
 水くさい仲も又良し我は我
 明日は切る花に別れの水をやる
 老いの耳甘い言葉に弱くなる
 思い出をたぐれば甘い童歌
 人の世の出会いが決める幸不幸
 旅館から妻の明るい声届く
 年金で細々暮らす老い二人
 嫁姑火種消し去る孫の笑み
 山本 小鮎
 太田 一洋
 北川 弥生
 池田 善笑
 風呂谷 いずみ
 高木 柳月
 石垣 小道
 福岡 純山
 中村 あかり
 黒岩 一平
 井上 可楽



Topic

南海地震津波の絵本 『シロのないた海』



昭和21年(1946)12月21日未明に発生した南海地震津波により、本町浅川において85人の尊い生命が失われた事実は代々語り継がねばなりません。そして、この苦い体験を教訓として、明日起こるかも知れない地震津波への防災に備えるために一読をお薦めしたいのが、南海地震津波の絵本『シロのないた海』です。徳島市生まれの飯原一夫先生の絵と文で綴られた本書は、小学生の児童向きに易しく書かれています。津波災害の恐ろしさを家族の皆様で考え、二度と辛い出来事を繰り返さないようにしたいものです。

(本書へのお問い合わせは海陽町立博物館 73-4080まで)